

◇ 保 健 部

◎ 保 健 医 療 課

職員は課長以下14人(うち会計年度任用職員7人)である。

事務の分掌は、地域医療・救急医療の環境整備、感染症対策事業、公害病補償給付事業等に関するものである。

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支 出 負 担 行 為 額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
歳 入	482,173,000	198,022,222	284,150,778	41.07
歳 出	1,304,968,000	967,447,834	337,520,166	74.14

歳入は予算現額482,173千円に対し、調定額205,732千円、収入済額198,022千円で執行率41.07%となっている。

歳出については、予算現額1,304,968千円に対し、支出負担行為額967,448千円で執行率74.14%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 救急医療事業

本市の一次救急は、救急医療センターと医療機関において実施している。救急医療センターは、(一社)富士市救急医療協会が指定管理者として運営管理している。

また、二次救急は中央病院及び他の市内医療機関(聖隷富士病院・川村病院)、救急歯科は歯科医師会館で行っている。

8月末日までの患者数は、次のとおりである。

(単位：人)

一次救急	救急医療センター			医療機関			合 計
	内科	小児科	外科	産婦人科	眼科	耳鼻科	
患者数	2,822	1,516	2,663	43	231	264	7,539
二次救急	市内医療機関			合 計			
	内科系		外科系				
患者数	47		22	69			
救急歯科	歯科医師会館						
患者数	148						

(2) 感染症対策事業

富士市地域外来・検査センターを週2回開設し新型コロナウイルス感染症のPCR検査を実施している。また、市が行うイベント等に対して手指消毒液を配布している。

さらに、7月25日から新型コロナウイルス感染症に係る問い合わせや電話での相談に対応するため窓口を開設し、8月10日からは新型コロナ検査キットを有症状者向けに配布する事業を実施している(いずれも9月末まで)。

(3) 指定難病等対策事業

指定難病(338疾病)、特定疾患(6疾患、1研究事業)及び小児慢性特定疾病(788疾病)患者の療養に伴う経費の軽減を図るため、療養扶助費の支給を行っている。

8月末日までの執行状況は、次のとおりである。

(単位：件、円)

支給別種類	支給件数	金額
一律支給	186	1,860,000
入院(15日以上)	147	1,470,000
入院(14日以下)	98	490,000
合計	431	3,820,000

(4) 公害病補償給付事業

公害病認定患者に対する医療費、障害補償費等の支給を行っている。

8月末日までの執行状況は、次のとおりである。

(単位：件、円)

支給別種類	支給人数	支給件数	金額
法律分	330	4,020	190,375,107
条例分	15	198	8,089,900
合計	345	4,218	198,465,007

◎ 健康政策課

健康推進・健診担当が置かれており、職員は課長以下53人(うち会計年度任用職員33人)である。

事務の分掌は、健康ふじ21計画の推進事業、健康診査事業、予防接種事業、結核予防事業、自殺予防対策事業、フィランセの施設管理等に関するものである。

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区分	予算現額	収入済額 支出負担行為額	収入未済額 予算残額	対予算 執行率
歳入	1,097,942,000	2,015,290	1,095,926,710	0.18
歳出	2,437,493,000	1,953,830,910	483,662,090	80.16

歳入は予算現額1,097,942千円に対し、調定額2,023千円、収入済額2,015千円で執行率0.18%となっている。収入未済額の主なものは、国・県支出金である。

歳出については、予算現額2,437,493千円に対し、支出負担行為額1,953,831千円で執行率80.16%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 健康診査事業

がん対策の推進を図るため、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診や、子宮がん検診、乳がん検診を実施している。

8月末日までの各種健康診査の実施状況は、次のとおりである。

(単位：人、%)

健康診査種類		計画人員	受診者数	実施率
生活保護受給者健診	個別	150	80	53.3
胃がん検診	集団	1,465	160	10.9
	個別	1,000	115	11.5
	内視鏡	2,460	804	32.7
	リスク検診	1,629	361	22.2
肺がん検診	集団	13,725	4,317	31.5
うちアセスト関連疾患検診	集団	10	0	0.0
大腸がん検診	集団	4,480	1,967	43.9
	個別	9,350	4,009	42.9
	クーポン	245	27	11.0
前立腺がん検診	個別・集団	5,770	2,608	45.2
肝炎ウイルス検診	個別・集団	1,212	572	47.2
子宮がん検診	個別・集団	7,705	3,280	42.6
	クーポン	140	21	15.0
	HPV	725	243	33.5
乳がん検診	個別・集団	5,180	1,863	36.0
	クーポン	310	49	15.8

(2) 結核予防事業

感染症法に基づき、65歳以上の市民を対象に胸部レントゲン検査を実施している。
8月末日までの結核健康診断の実施状況は、次のとおりである。

(単位：人、%)

検査種類	計画人員	受診者数	実施率
胸部エックス線検査	9,760	4,317	44.2

(3) 若年がん患者等支援事業

若年がん患者等の支援事業として、妊よう性温存治療、医療用補整具購入、在宅療養生活支援に対して費用の一部を補助しており、8月末日までに妊よう性温存治療に対する補助を1人に、医療用補整具購入に対する補助を27人に実施している。

(4) 予防接種事業

予防接種法に基づき、伝染の恐れがある疾病の発生及び蔓延を予防するため、乳幼児、小中学生及び高齢者等に予防接種を実施し、公衆衛生の向上を図っている。

8月末日までの実施状況は、次のとおりである。

(単位：人、%)

予 防 接 種 名		計 画 人 員	実 施 者 数	実 施 率
集団	B C G	1,600	581	36.3
個別	四種混合	6,420	2,389	37.2
	二種混合	2,200	665	30.2
	MR	3,630	1,554	42.8
	日本脳炎(幼児)	7,605	2,821	37.1
	日本脳炎(学童)	5,402	1,245	23.0
	H i b	6,420	2,362	36.8
	小児肺炎球菌	6,420	2,375	37.0
	子宮頸がん	2,703	630	23.3
	子宮頸がん(キャッチアップ接種)	7,600	597	7.9
	水痘	3,305	1,142	34.6
	B型肝炎	4,820	1,777	36.9
	ロタウイルス	4,723	1,636	34.6
	高齢者肺炎球菌	3,349	1,631	48.7
	緊急風しん抗体検査	1,000	646	64.6
	緊急風しん予防接種	300	137	45.7
	高齢者インフルエンザ	34,800	0	0.0
	こどもインフルエンザ	27,000	0	0.0
	大人の風しん・MR	382	138	36.1
特別の理由による任意予防接種費用助成	1	0	0.0	

(5) 健康ふじ21推進事業

市民健康行動支援事業では、ふじ健康ポイント事業に8月末日時点で5,722人が参加、運動講座及び糖尿病予防講座はそれぞれ1回、市民健康相談・栄養相談は19回実施している。

また、8020推進事業では、歯周病検診を4回、歯と口の健康週間行事及び住民歯科会議をそれぞれ1回実施している。

(6) 新型コロナワクチン接種事業

新型コロナワクチン接種のため、集団接種会場を公共施設に3会場、個別接種会場を医療機関72か所に整備しワクチン接種を実施している。

ワクチン接種開始から8月末日までの接種状況は、次のとおりである。

【12歳以上接種】

(単位：人)

区分	対象人口 (R3. 4. 1. 時点)	1回目	2回目	3回目	4回目
65歳以上	73,439	67,308	67,033	64,280	44,978
60～64歳	15,513	14,523	14,457	13,468	6,179
50～59歳	36,547	34,111	33,895	29,481	1,408
40～49歳	34,786	31,005	30,808	23,206	1,025
12～39歳	69,885	59,692	59,028	36,762	975
合計	230,170	206,639	205,221	167,197	54,565

【小児接種】

(単位：人)

区分	対象人口 (R4. 1. 1. 時点)	1回目	2回目
5～11歳	14,782	4,092	3,848

◎ 地域保健課（食育推進室を含む。）

総務・東部地域・中部地域・西部地域担当及び食育推進室が置かれており、職員は課長以下63人（うち会計年度任用職員29人）である。

事務の分掌は、健康教育・健康相談・訪問指導事業、母子保健事業、食育推進事業、健康推進員活動支援事業等に関するものである。

1 予算の執行状況

（単位：円、％）

区分	予算現額	収入済額 支出負担行為額	収入未済額 予算残額	対予算 執行率
歳入	8,806,000	0	8,806,000	0.00
歳出	101,907,000	48,827,936	53,079,064	47.91

歳入は予算現額8,806千円に対し、未執行となっている。収入未済額の主なものは国・県支出金である。

歳出については、予算現額101,907千円に対し、支出負担行為額48,828千円で執行率47.91％となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 母子保健事業

乳幼児の健全育成を目的に、妊娠・出生から小学校入学までの乳幼児を対象に乳児健康診査、3歳児健康診査等の各種事業を医療機関、こども発達センター等と連携を図りながら実施している。また、不妊・不育治療費補助事業を実施し、申請者は17人となっている。

8月末日までの実施状況は、次のとおりである。

（単位：回、人）

健康診査種類		開催回数	受診者数
乳児健康診査	4か月児健診	随時	591
	10か月児健診		634
1歳6か月児健康診査		19	724
3歳児健康診査		18	706

(2) 健康教育・健康相談・訪問指導事業

健康教育では、がん共生セミナーを3回、事業所での健康教育を2回実施している。また、ふじ職域健康リーダーは134事業所に設置しており、その他の健康教育は141回、1,603人に実施している。

健康相談では、骨の健康相談を34回、584人、まちの保健室を11回、149人、その他の健康相談を62回、560人に実施している。

また、訪問指導事業として、健(検)診受診勧奨訪問を444人に実施している。

(3) 食育推進事業

食育推進計画に基づく施策を総合的かつ計画的に推進するため、食育推進会議(委員15人・アドバイザー3人)を食育推進連絡会と合同で1回開催し、食育推進事業として、今泉地区・青葉台地区において食育推進地区事業を3回、7,809人、食育推進校事業を13回、2,044人に実施している。

また、食育推進PR事業として、食育月間PR展示等を3回、1,480人、食生活推進員活動支援として、健康クッキングを26回、141人に実施している。

(4) 健康推進員活動支援事業

市内27地区の健康推進員340人により、地区活動として地区行事等での普及啓発を78回、1,371人、地区健康講座を1回、8人、地区健康相談を7回、137人、健康だよりの発行を24地区、29回実施している。また、総会は1回、地区研修は3回、593人に、合同研修は2回、579人に実施している。

◎ 国保年金課

保険給付・保健事業・賦課・高齢者医療・国民年金担当が置かれており、職員は課長以下40人(うち会計年度任用職員14人)である。

事務の分掌は、国民健康保険の給付、特定健診等の保健事業、国民健康保険税の賦課、後期高齢者医療、国民年金等に関するものである。

一 般 会 計

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対予算 執行率
歳 入	1,342,371,000	10,980,000	1,331,391,000	0.82
歳 出	4,334,538,000	4,189,472,298	145,065,702	96.65

歳入は予算現額1,342,371千円に対し、調定額・収入済額ともに10,980千円で執行率0.82%となっている。収入未済額の主なものは、国・県支出金である。

歳出については、予算現額4,334,538千円に対し、支出負担行為額4,189,472千円で執行率96.65%となっている。

2 事業の執行状況

(1) 特別会計への繰出

国民健康保険事業特別会計への繰出金として、保険基盤安定分1,149,219千円、未就学児均等割保険税分13,930千円、職員給与費等分200,813千円、出産育児一時金等分39,200千円、財政安定化支援事業分96,197千円の合計1,499,359千円を予算計上し、8月末日までに464,682千円を支出している。

また、後期高齢者医療事業特別会計への繰出金として2,760,183千円を予算計上し、8月末日までに925,914千円を支出している。

(2) 国民年金事務

日本年金機構との連携を密に、国民年金被保険者の資格取得、保険料の免除及び年金給付に関する諸手続き事務、年金相談等を実施している。

8月末日時点の被保険者の加入状況は、次のとおりである。

国民年金被保険者数

(単位：人)

種 別	男	女	合 計
第 1 号 被 保 険 者	12,313	11,458	23,771
任意加入被保険者	91	141	232
第 3 号 被 保 険 者	154	15,499	15,653
合 計	12,558	27,098	39,656

※ 第1号被保険者＝自営業者・農林漁業従事者・学生・無職の人などで
20歳以上60歳未満の人

第3号被保険者＝厚生年金や共済組合に加入している夫又は妻の被扶養者で
ある配偶者で20歳以上60歳未満の人

ア 年金相談

年金相談員2人による年金相談を常時実施しており、8月末日までの窓口相談件数は、次のとおりである。

(単位：件)

相 談 内 容	相 談 件 数
制 度 全 般	19
適 用 関 係	2,304
保 険 料 関 係	3,416
給 付 関 係	642
そ の 他	85
合 計	6,466

イ 年金保険料免除

低所得者等に対する免除制度、納付猶予制度及び学生に対する学生納付特例制度について広報紙等で周知を図っている。

8月末日までの第1号被保険者の免除者数は、次のとおりである。

(単位：人、%)

種 別	免除者数	免 除 率
法 定 免 除	2,426	10.2
申請免除(全額・3/4・半額・1/4)	2,974	12.5
納 付 猶 予	894	3.8
学 生 納 付 特 例	2,274	9.6
合 計	8,568	36.0

国民健康保険事業特別会計

1 予算の執行状況 (単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対予算 執行率
歳 入	24,500,000,000	7,927,978,546	16,572,021,454	32.36
歳 出	24,372,310,000	22,942,615,235	1,429,694,765	94.13

歳入は予算現額24,500,000千円に対し、調定額24,511,914千円、収入済額7,927,979千円で執行率32.36%となっている。

歳出については、予算現額24,372,310千円に対し、支出負担行為額22,942,615千円で執行率94.13%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 国民健康保険資格得喪事務

8月末日時点の国民健康保険の加入世帯及び被保険者は、次のとおりである。

加入世帯数 (単位：世帯)			被保険者数 (単位：人)		
区 分	4月1日時点	8月末日時点	区 分	4月1日時点	8月末日時点
一般世帯	32,526	32,469	一般被保険者	49,874	49,393
退職世帯	0	0	退職被保険者等	0	0
混合世帯	0	0	合 計	49,874	49,393
合 計	32,526	32,469			

(2) 保険給付事業

8月末日までの国民健康保険の保険給付状況は、次のとおりである。

(保険給付) (単位：件、円)

費 目		一 般 被 保 険 者	退 職 被 保 険 者 等	合 計
療養の給付 (現物給付)	件 数	289,998	0	289,998
	支給額	4,778,066,811	0	4,778,066,811
療養費の支給 (現金給付)	件 数	5,883	0	5,883
	支給額	37,447,940	0	37,447,940
高額療養費 (現金給付)	件 数	14,136	0	14,136
	支給額	885,468,989	0	885,468,989

(その他給付)

(単位：件、円)

区 分	支給件数	支 給 額
出産育児一時金 (42万円)	35	14,512,300
葬 祭 費 (5万円)	142	7,100,000
新型コロナウイルスに係る傷病手当金	23	915,784

(3) 保健事業

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とした「特定健康診査・特定保健指導」を40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象に実施している。8月末日までに個別健診で2,413人、集団健診で263人が受診し、生活習慣病のリスクが高く、生活習慣改善の支援が必要な105人に対して、特定保健指導初回面接を実施している。

また、被保険者の健康管理を目的に、人間ドック、脳ドックに対する費用の助成を行っている。

8月末日までの支出状況は、次のとおりである。

(単位：人、円)

区 分	計画数	受診者数	金 額
人間ドック	1,500	592	15,392,000
脳ドック	380	127	4,191,000

後期高齢者医療事業特別会計

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対予算 執行率
歳 入	5,746,000,000	1,637,228,438	4,108,771,562	28.49
歳 出	5,703,397,000	5,682,701,168	20,695,832	99.64

歳入は予算現額5,746,000千円に対し、調定額5,559,111千円、収入済額1,637,228千円で執行率28.49%となっている。収入未済額の主なものは、後期高齢者医療保険料及び一般会計からの繰入金である。

歳出については、予算現額5,703,397千円に対し、支出負担行為額5,682,701千円で執行率99.64%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 後期高齢者医療保険料の収納状況

後期高齢者医療保険料は、予算現額2,890,177千円に対し、収入済額700,110千円で収納率24.22%となっている。

なお、8月末日までの収納状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	対予算 収納率
特別徴収	1,092,706,000	1,107,302,100	331,046,700	776,255,400	30.30
普通徴収	1,797,471,000	1,680,506,607	369,063,378	1,311,443,229	20.53
合 計	2,890,177,000	2,787,808,707	700,110,078	2,087,698,629	24.22

(2) 保健事業

後期高齢者医療保険加入者に対する健康診査事業、人間ドック・脳ドックの助成事業を実施しており、8月末日までの実施状況は、健康診査で1,898人、20,350千円、人間ドックで229人、5,954千円、脳ドックで61人、2,013千円を支出している。

◎ 看護専門学校

職員は校長以下21人(うち会計年度任用職員3人)である。なお、学校長は中央病院長が兼務している。

事務の分掌は、看護教育に係る事務事業、学校行事の企画立案、運営管理等に関するものである。

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区分	予算現額	収入済額 支出負担行為額	収入未済額 予算残額	対予算 執行率
歳入	47,570,000	7,862,345	39,707,655	16.53
歳出	58,297,000	37,606,162	20,690,838	64.51

歳入は予算現額47,570千円に対し、調定額22,408千円、収入済額7,862千円で執行率16.53%となっている。収入未済額の主なものは、衛生費負担金である。

歳出については、予算現額58,297千円に対し、支出負担行為額37,606千円で執行率64.51%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 運営管理事業

看護専門学校は、地域の人々の健康、医療、看護に対するニーズに応えるべく、豊かな教養と人格を備え、幅広い視野で行動しうる、質の高い看護の専門職業人育成を目指し、非常勤講師や実習施設(中央病院等)との連絡調整、その他各種学校行事、入学試験、学生募集、進路指導などを行っている。

(2) 在學生・卒業生の動向

在學生は、3年生38人(うち男子2人)、2年生39人(うち男子4人)、1年生40人(うち男子1人)の合計117人(うち男子7人)となっている。

本年度の募集人員は40人(推薦入学含む。)で、12月22日・1月20日に一般入試を実施する予定となっている。

また、3年生が合格を目指す看護師国家試験は2月12日に実施される予定となっている。

なお、令和4年3月に卒業した第27期生は41人で、看護師国家試験を受験した41人全員が合格した。卒業生は、市内の5病院に29人(うち、中央病院に23人)、富士宮市の2病院に6人、県内の3病院に3人、県外の2病院に2人が就職し、進学が1人となっている。